

第6章 施策の展開

1. 基本目標 1 生涯健康スポーツ活動の推進

◆ 施策目標 1-1 児童・生徒のスポーツ活動の推進

具体的な取組	今後の取組	担当課
①スポーツ教室・講習会の開催	市民意識調査では、今後参加してみたいスポーツイベントとして、「プロスポーツ選手との交流・試合観戦」が35.8%と最も多かったことから、トップアスリートによるクリニックの開催を推進していきます。	文化スポーツ課
②スポーツ大会等の開催	小学校駅伝大会を継続していくとともに、市民意識調査では、今後重点を置くべき市のスポーツ振興施策として、「子どものスポーツ活動の推進」が30.6%と3番目に多かったことから、親子参加型イベントの企画を検討していきます。	文化スポーツ課
③中学校部活動等への支援	中学校における部活動の中で、各種大会等に参加するための交通費・宿泊費などを補助金として交付し、部活動を推進していきます。	学務課
	部活動指導員を8名配置できるようにし、競技経験のない教員に代わって専門的指導ができるように斡旋していきます。外部指導者についても積極的に活用するよう働きかけていきます。	教育指導課



◆ 施策目標 1-2 成人のスポーツ活動の推進

具体的な取組	今後の取組	担当課
①スポーツ大会や競技会の開催	市民意識調査では、今後参加してみたいスポーツイベントとして、「プロスポーツ選手との交流・試合観戦」が35.8%と最も多かったことから、トップアスリートによるプロスポーツの試合（国内男子プロバスケットリーグ【Bリーグ】、バスケット女子リーグ【Wリーグ】）等の誘致を推進していきます。	文化スポーツ課
②スポーツ健康教室等の開催	市民意識調査で、参加したスポーツイベントでは、「神栖市はさきさわやかランニング大会」が前回調査より9.0ポイント多くなっています。また、「神栖市スポーツレクリエーション祭」は、4割を超えていることから、今後も継続して開催するとともに、参加者の拡大を図ります。	文化スポーツ課
③運動習慣導入支援の推進	集団健康教育事業については、委託事業として実施していますが、担い手となる事業者の確保が困難な状況です。受講者に対しては、教室終了後における同等運動レベルでの活動場所や活動団体を紹介し、行政が関わらなくても継続して運動できる仕組みづくりの構築支援をしていきます。	健康増進課
④ニュースポーツ等の普及	市民意識調査では、今後参加してみたいスポーツイベントとして、「eスポーツのイベント」が7.8%となっています。また、今後やってみたい運動・スポーツ種目でも「eスポーツ」が4.4%となっていることから、eスポーツの普及を目指します。	文化スポーツ課

◆ 施策目標 1-3 障がいのある人のスポーツ活動の推進

具体的な取組	今後の取組	担当課
①スポーツイベントへの支援	多くの参加者や応援者・見学者に参加してもらうため、呼びかけ方法等を検討していきます。また、会場づくりや運営方法についても障がいのある人に配慮した環境づくりに努めます。 ※鹿行地区身体障害者スポーツ大会は、毎年5市の持ち回りで開催しており、本市では令和4年度に開催予定です。	障がい福祉課

◆ 施策目標 1-4 高齢者のスポーツ活動の推進

具体的な取組	今後の取組	担当課
①教室・レクリエーション等の開催	スポーツ講座の開催については、男性の参加者が少ないことから、今後も男性の参加しやすい講座運営に努めます。また、充実した講座を開講していくために、高齢者の意向を把握するとともに、講座内容を見直していきます。	長寿介護課
②シニアクラブへの支援	○高齢者生きがい対策事業費補助金 高齢化に伴い、高齢者数は増加していますが、高齢者の意識の変化などにより、シニアクラブ数、会員数は減少傾向で、各大会等への参加者数も減少しています。今後は、介護予防対策の視点も含め、シニアクラブを活性化させ、自ら地域社会に参画し、生きがいを感じるような組織づくりをしていくことで、会員数の増加、各大会等への参加者の増加を図ります。	長寿介護課

◆ 施策目標 1-5 スポーツ少年団の育成

具体的な取組	今後の取組	担当課
①スポーツ少年団指導者の育成・確保の支援	スポーツ指導者を確保するとともに、活動支援体制を構築していきます。	文化スポーツ課
②スポーツ少年団活動への支援	近年、子どもの減少やスマホ使用の長時間化、猛暑による屋外での運動の制限、団体への所属意識の希薄化等により、団員数が減少傾向にあります。今後は、団員確保のための広報等を検討していくとともに、スポーツ指導者を確保しながら、少年団活動の活性化を図っていきます。	文化スポーツ課

2. 基本目標2 スポーツ施設等の整備・充実

◆ 施策目標 2-1 スポーツ施設等の整備・充実

具体的な取組	今後の取組	担当課
①スポーツ中核施設の整備・充実	かみす防災アリーナの開館に伴い、市の中心部ににぎわいを創出するとともに、施設のよりよい活用方法について検討していきます。また、PFI手法によるノウハウを活用し、運営・維持管理をしていきます。	文化スポーツ課
②既存スポーツ施設の整備・充実	多くのスポーツ施設で老朽化が進んでいることから、継続して劣化度調査や補修を計画的に進め、安心・安全なスポーツ施設にリニューアルしていきます。	文化スポーツ課
③スポーツ活動のための環境の整備	各種大会、イベント主催者に運営方法をヒアリングし、開催にあたり適正な利用時間を再検討して、スポーツ活動等のための環境整備に努めていきます。	文化スポーツ課
④スポーツ施設の効果的な運用	神栖市矢田部サッカー場については、年々利用時間数が減少していることから、今後は、指定管理者と協議の上、利用時間の拡大に向けた対応策を検討していきます。 また、市民意識調査では、市内の各スポーツ施設における利用料金や利用時間、予約システムについての見直しの要望もあることから、利用者に配慮した利用方法を検討していきます。	観光振興課 文化スポーツ課



◆ 施策目標 2-2 スポーツ活動の場の提供

具体的な取組	今後の取組	担当課
①学校施設の利用の推進	学校開放事業により、学校の施設を使用できることを広く周知していきます。利用者からは、スポーツ施設が老朽化しているとの声もあることから、利用団体、利用者の拡大を促進していきます。また、団体等意識調査では、団体の主な活動場所として約6割が、「小・中学校の校庭・体育館」を挙げており、開放時間の延長や暑さ対策などの声もあることから、利用条件の見直しや環境の整備を検討していきます。	教育委員会
②身近な施設での場の確保	4館のコミュニティセンター（大野原、うずも、平泉、波崎東ふれあいセンター）では、体操やダンスなど軽スポーツ・ニュースポーツの活動の場として利用が可能です。スポーツ活動の場として使用できることを周知するとともに、利用者の拡大を促進していきます。なお、各コミュニティセンターは、いずれの施設も老朽化してきていることから、計画的な改修、工事等により、整備及び管理していきます。	市民協働課

3. 基本目標3 スポーツ推進体制の整備

◆ 施策目標 3-1 総合型地域スポーツクラブの育成

具体的な取組	今後の取組	担当課
①「かみすスポーツクラブ」の運営支援	今後も継続して、かみすスポーツクラブの運営に係る財政的支援をしていきます。	文化スポーツ課
②市民への啓発活動の促進	市民意識調査では、「総合型地域スポーツクラブ」、「かみすスポーツクラブ」を「知らない」との回答が、ともに8割前後となっています。今後はこの認知度を向上させるとともに、クラブへの加入者を増やすため、広報紙やホームページ等を利用して周知活動を推進します。	文化スポーツ課

◆ 施策目標 3-2 スポーツ指導者の育成・確保

具体的な取組	今後の取組	担当課
①スポーツ指導者の発掘・育成 ②スポーツ指導者研修の充実	新たなスポーツ指導者を発掘・確保し、スポーツ指導者への活動支援体制を構築していきます。	文化スポーツ課
③スポーツボランティアの確保と活動の促進	現在は情報提供のみを行っています。今後は、ボランティア募集情報をより広く広報するための手段や、市民とボランティア活動のコーディネートを行うための体制づくり及び方法を検討していきます。	市民協働課
④スポーツの専門知識を持った人材活用	生涯学習人材バンクへの登録者には、スポーツの専門知識を持った人材が少ないことから、人材バンク自体の認知度をあげ、制度の周知に努めます。	市民協働課

◆ 施策目標 3-3 スポーツ関係団体との連携強化

具体的な取組	今後の取組	担当課
①スポーツ団体への支援	今後も継続してスポーツ団体へ補助金を交付するとともに、スポーツ関係団体の活動実績等を把握しながら、情報交換を行い、スポーツ関係団体の自主的な活動を支援していきます。 また、団体等意識調査では、運営上の課題として、「会員の確保」を挙げた団体が約7割もあったことから、団体と連携を図りながら、会員獲得の方策を検討していきます。	文化スポーツ課
②鹿島アントラーズ、茨城ロボッツ及び茨城アストロプラネッツとの連携	鹿島アントラーズのホームタウンである鹿行5市とスポーツを通じて地域社会と一体となった社会貢献を目指すアントラーズが連携し、鹿行地域の振興を図ることを目的として来場者への特産品の配布などを継続し、来場者の増加を図ります。また、神栖市では令和元年2月17日（日曜日）に茨城ロボッツ、2月19日（火曜日）に茨城アストロプラネッツとそれぞれ「フレンドリータウン協定」を締結しました。この締結により、かみす防災アリーナや海浜球場での公式戦開催など、両者協力のもと、地域活性化やスポーツの振興・普及促進等を推進していきます。	文化スポーツ課 政策企画課 観光振興課

※茨城ロボッツ：2013年に誕生した、水戸市・つくば市を中心に活動しているプロバスケットボールチーム。

※茨城アストロプラネッツ：茨城県内を本拠地として、2019年4月からプロ野球独立リーグ、ルートインBCリーグに参入しているプロ野球球団。

◆ 施策目標 3-4 スポーツに関する情報提供の充実

具体的な取組	今後の取組	担当課
①スポーツ情報の効果的な提供	<p>現在、生涯学習情報誌「まなびアイかみす」や「広報かみす」、文化スポーツニュース（年5回）によりスポーツ情報を提供しています。</p> <p>市民意識調査では、今後重点を置くべき市のスポーツ振興施策として、「スポーツに関する広報等の情報提供」が約2割となっていることや自由記述でもスポーツイベント等の情報提供を望む声が寄せられていることから、各担当課で連携を図りながら、SNS等の活用も視野に、今後も効果的な情報提供に努めていきます。</p> <p>また、市内の各スポーツ施設の利活用方法の情報も提供していきます。</p>	市民協働課 文化スポーツ課

4. 基本目標 4 茨城国体を契機とした更なる競技力向上対策の推進

◆ 施策目標 4-1 競技力向上のための支援体制の充実

具体的な取組	今後の取組	担当課
①競技力向上の支援	<p>茨城国体の天皇杯、皇后杯の獲得を受け、本市においても、関係諸団体との連携強化を図り、一般部門だけではなく、シルバー、ジュニア、障がい者各部門の競技力向上とスポーツ活動の支援を継続していきます。</p>	文化スポーツ課

5. 基本目標5 スポーツによるまちの活力づくりの推進

◆ 施策目標 5-1 地域経済を潤すスポーツイベント事業等の促進

具体的な取組	今後の取組	担当課
①スポーツイベント事業等の開催	市民意識調査では、今後重点を置くべき市のスポーツ振興施策として、「子どものスポーツ活動の推進」、「高齢者のスポーツ活動の推進」が約3割、「各種スポーツ大会やイベントの開催」が2割となっています。このことから、トップアスリートとのふれあい体験や各種競技のプロスポーツの試合の誘致をはじめ、各種スポーツ大会やスポーツイベントを企画し、参加者の増加を図っていきます。	文化スポーツ課
②スポーツ合宿等の情報発信の強化（スポーツツーリズムの推進）	2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ地として、平成 30 年 11 月にチュニジアオリンピック委員会と基本合意書を締結しました。今後は、チュニジア共和国を中心に、諸外国、各種競技の事前キャンプの誘致を行います。また、茨城県と連携強化し、神栖市を国内外にPRする活動を展開していきます。	政策企画課
	サッカー以外のスポーツ合宿地としての認知度を向上させ、「知る」「来る」「満足する」の各項目の向上に取り組むとともに、スポーツツーリズムによる交流人口の増加、地域経済の活性化に取り組んでいきます。	観光振興課

◆本市においては、平成 30 年度にスポーツツーリズム推進室が発足しました。

スポーツツーリズム推進室では、1 年を通して温暖な気候と多くのスポーツ施設を活かし、市内での宿泊を伴うスポーツ大会やイベント開催、合宿を希望している方の受付窓口として、各種イベントの開催に向けたサポートをしています。

※スポーツツーリズム：スポーツ庁が「スポーツによる地域活性化の推進を図る取組」として推進している考え方。プロスポーツの観戦者やスポーツイベントの参加者と開催地周辺の観光とを融合させ、交流人口の拡大や地域経済への波及効果などを目指す取り組み。